

## 第2回中小企業における外国人材活用に関する検討会 議事要旨

日時：令和2年10月28日（水）16：00～17：30

場所：東京都庁第一本庁舎16階特別会議室S6

議事概要：

1. 開会
2. 議事
  - (1) 第1回検討会における主な意見（事務局）
  - (2) 有識者等へのヒアリング結果（事務局）
  - (3) 外国人材によるプレゼンテーション
  - (4) 意見交換
3. 閉会

### 【主な意見の概要】

#### （情報発信について）

- 職場や地域において、「外国人材を温かく受け入れている」状況を見せることが重要。外国人の皆さんに東京の中小企業に対する関心を持っていただくため、東京の企業で海外の方が生き生きと働いている姿を日本や世界に動画で発信していきたい。この検討会で動画として結実させたい。
- 東京の強みとして、休暇制度の充実やテレワーク導入率の高さ、人を大切にすること、医療体制の充実、治安の良さをあげることができる。こうした強みを認識したうえで、世界に向けて情報発信していくのが大切。
- 日本の強みである社会保障制度、医療制度、出産・育児に対する支援、終身雇用、研修など、日本のすばらしさを発信していくべき。

#### （中小企業における外国人材の受入れについて）

- 外国人材活用の秘訣は、外国人材と日本人を区別しないことである。
- 中小企業に対しては、様々な情報提供や相談支援が必要。また、外国人社員と日本人社員の間で同等のコミュニケーションを実現することが重要。
- 受入側の企業が、社内で外国人材にどのように活躍していただくかを検討し、コミュニケーションの方法を考えるとともに、異なる文化・習慣に対する理解を深め、一緒に働く仲間として考える視点が重要。
- 外国人材の雇用管理制度については、まず企業の人事担当者が学び、そのうえで企業の担当者から外国人社員に説明してもらうとよい。

○コミュニケーション研修は、企業の側にも気づきがある。来年度以降コミュニケーション研修を推進していただきたい。

#### **(外国人材が抱えている課題について)**

○外国人社員のスキルアップも重要。都がビジネスマナー講座やスキルアップ研修に取り組むことは有効。

○留学生にとって、外国人材を採用する日本の企業を見つけることは難しい。外国人材向けの説明会が非常に少ないため、就職を希望してもかなわず、帰国してしまう学生が多く出てしまうのではないかと心配である。

#### **(在留資格制度等について)**

○留学生の中には、ビザに関する知識がほとんどない人もいる。外国人材を雇用する予定の企業を対象に、ビザ取得の手続に関する説明会をして頂くと良い。

○政府に言うべきことであるが、外国人（技能実習）の就職を支援する監理団体のチェック機能を強化すべき。また、悪質な監理団体がいることも事実なので、免許の許可制等についての検討も必要。

#### **(今後の対応について)**

○コロナ禍においても、外国人材に対する中小企業の雇用ニーズは減っていない。来年度に向けた支援策を検討して頂きたい。

○本検討会における調査、ヒアリング、議論の内容は、次回開催予定の「東京の中小企業振興を考える有識者会議」で報告する。